

白川 信弘 展

6月7日(土)～22日(日)

■メッセージ

「現在、主に花をモチーフにしてデジタルカメラとパソコンで写真画像に手を加え、自己流のアート画像作りを楽しんでいます。デジカメ歴は4年目ですが、色々工夫をしながら独自の画像作りを勉強中です。つたない作品ですがご照覧ください。明るく、楽しく、愉快にがモットーです。」



案浦 博子 作品展

6月28日(土)～7月13日(日)

■メッセージ

海を描いても
川の流を描いても風になる。
樹木を描いても風になる。
岩を描いても風になる。
花を描いても風になる。
風の流のように私のペンは走る。

無意識にペンが走る
無意識に描いた線。
こうしたことは私の落書きなのかも知れません。
その落書きは私の楽しい歌、そして自由なひとときのものです。
いくつかの偶然が重なって 大好きな久我美術館で絵の個展を開催することになりました。
御来館を心よりお待ちしております。



生物 I

これからはじまります

「池田 大受 展」
5月18日(日)～6月1日(日)

緑を守り育てる

「ノコツタ、ノコツタ(2)」

上須恵区的眼療宿場跡地の一角に、1本のヤマモモの木が生えています。幹周りは1メートル95センチ、四方に広がる枝ぶりは町の木、ヤマモモを代表するような風格を備えています。
このヤマモモ、町文化財の田原眼科屋敷跡に隣接する民有地にあつて、眼療宿場の境界を示す石垣の直ぐ内側に生えています。



命拾いしたヤマモモ

ところが、このまま放置すると根が伸びて保存が必要な石垣を壊す恐れが出てきました。このため関係者の間では、伐採も已む無しとする意見に傾いていました。
こうした中、協議会の一部にヤマモモの保存に執念を燃やす委員がいて、八方手を尽くした結果、同区内の宗教法人が移転先として現れました。

ヤマモモは、根の張りが大きく移転作業は難航しましたが、4月上旬、無事に作業を終えて安住の地を得ました。

移転したヤマモモから、数百メートルほど隔てた皿山公園の一角には、「ノコツタ、ノコツタ」の1号として紹介した別のヤマモモも植えられていて、関係者は命拾いをした2本のヤマモモに、ほっと胸をなでおろしています。

ところで須恵町内には、旅石区の尋光寺境内にあるイチヨウとエノキ、佐谷区の観音谷から山道を登った若杉山の山中にあるイスノキなど、未永く保存していきたい樹木がまだまだ数多く残っています。

シリーズで紹介してきた「保存樹と保存樹林」、今回でひと区切りとさせていただきます。

(須恵町自然教育推進協議会
この欄の担当は大場正起でした)



歴史民俗資料館

初夏の企画展

『路地裏のヒーローたち』

5月3日(土)～6月29日(日)

昔懐かしいおもちゃを展示しています。かつて憧れたテレビや野球のヒーローが勢揃いです。

▼展示資料

月光仮面のお面 鉄人28号の初版本 大相撲のプロマイド
ブリキのおもちゃ 組み立て式紙芝居 銀弾鉄砲 めんこなど

